

指定管理者管理運営評価シート

別紙 2

平成 29 年度

1 施設の概要

指定管理施設名 (施設所管課)	稲美町加古大池利活用施設 (経済環境部 産業課)
指定管理者	特定非営利活動法人 ゆうゆう加古っち 代表者氏名 松尾 俊明
指定管理期間	平成 25 年 4 月 1 日 ~ 平成 30 年 3 月 31 日
指定管理委託料	5,743,000 円 (平成 29 年度)

2 指定管理者による自己評価

評価項目	事業計画	実績	自己評価
運営状況	・ 開館日数 ・ 開館時間	・ 306 日 ・ 9 時～17 時	A 管理棟の当日当番者から翌日当番者への連絡を徹底させ、所定の日時・時間について適切に運営。
	・ 委託事業	・ 管理棟の管理業務 ・ 公園部分の管理業務	S 指定管理 5 年目の経験を活かし、交流室の床掃除等に努め、概ね好評。年間に最低 3 回の草刈・剪定・防虫作業を実施し、概ね好評を得ている。
	・ 自主事業の実施	・ 環境分野 初日の出鑑賞会、写真展、ポスター絵展、花の植栽	A 地活事業として、初日の出鑑賞会・ポスター絵展・写真展のような集客事業、加古の池を愛する会との花植栽のような協働事業を実施し、多彩な活動を実施できた。
	・ 利用者の満足度	・ 公園利用の利便提供 ・ アンケート結果 (20 件)	A 多目的広場・北池の予約申込に注意を払い、駐車可能数を考慮した受付を実施し、快適に利用してもらえた。
	・ その他	・ 地活の場としての環境とサービスの提供	S ゴミ拾い等の美化活動を徹底し、ウォーキング利用者、釣り客、サーフィン愛好者等が増加している。
施設維持管理	・ 管理棟全体 ・ 東公園トイレ清掃 ・ 公園全体 ・ 警備 ・ 公園の保守	・ 年 2 回の業者委託清掃 ・ 全開館日について、管理人が清掃 ・ 作業体制変更で効率化 ・ 多目的広場、遊歩道縁石の除草 ・ 水際のゴミ拾い ・ 専門業者に委託 ・ 杭、ロープ修理等 ・ つる草除去 ・ 遊歩道付近の枝、生垣の剪定	S 日々の清掃は、管理人自主作業で良好。ロビーのスリッパ利用方式も 3 年目となり美化向上。 管理人による清掃は 3 年目となり、美化・快適性が著しく向上。 作業日に全員出動体制をとることで草刈等の能率が向上、早期に完了。 早めの草刈、除草で利便性向上。 冬の乾水期に土手際のゴミ拾いを実施し、美観著しく向上。 西日本警備保障は良好に管理。 多目的広場横、めがね橋付近など適宜修繕を実施。 歩行の障害となる加古大溝流入口付近、中土手のつる草を除去。

	<ul style="list-style-type: none"> 管理棟の保守 	<ul style="list-style-type: none"> 東公園トイレ便器修繕 		<p>歩行の障害となる枝や生垣の剪定を行い、台風による倒木を撤去。 腐食で倒れた公園街灯を撤去。</p> <p>故障した東公園トイレの障がい者便器を修繕。</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> その他（特記事項） 	<ul style="list-style-type: none"> 進入路石碑前と管理棟裏進入路の看板を再度設置 	A	台風で壊れた「スピード落とせ」、「歩行者注意」の看板を再度設置し、運転者に注意喚起し、事故等を防止。	
利用状況	<ul style="list-style-type: none"> 交流室利用者数 シャワー利用者数 公園利用者数 	<ul style="list-style-type: none"> 1,703人（昨年1,728人） 42人（昨年41人） 52,787人（昨年52,317人） 	A	高齢化、少子化による参加者減が進む中、交流室利用者、シャワー利用者、そして公園利用者（全体）はほぼ昨年と同数が微増となった。	
	<ul style="list-style-type: none"> 施設稼働率 	<ul style="list-style-type: none"> 交流室は余裕あり 	A	引き続き、町内の個人・団体の利用を高めたい。	
収支状況	<ul style="list-style-type: none"> 収支 支出 	<ul style="list-style-type: none"> 予算額：6,160,000円 実績：6,400,057円 予算額：6,160,000円 実績：6,400,057円 	A	予算作成時に厳しい予想で臨んだが、順当に収入を確保できた。作業の集中化で効率が上がり、その分で公園整備のレベル向上が図れた。	
	<ul style="list-style-type: none"> 経費削減の取組み 	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理最終年度における効果のある収支 	S	昨年度に続き、作業効率の向上と作業品質の安定が達成できた。	
運営体制	<ul style="list-style-type: none"> 人員配置 	<ul style="list-style-type: none"> 作業の熟練度、健康等を加味した人員配置 	S	作業の集中化で効率化をはかり、同時に休みやすさにより健康に配慮。	
	<ul style="list-style-type: none"> 危機管理体制 	<ul style="list-style-type: none"> 始業時点検、安全備品整備、緊急連絡網改善 	S	作業現場において、作業員・利用者ともに安全対策を徹底。	
	<ul style="list-style-type: none"> 苦情要望等への対応 	<ul style="list-style-type: none"> 犬の糞対策 バイク乗入れ禁止 野鳥観察場のクモの巣除去 自動販売機の設置 	A	犬の糞の放置については、引き続き警告グッズを設置し、遊歩道のバイクについては見つけ次第注意。野鳥観察場にクモの巣除去剤を散布し、快適な環境を提供。 自動販売機設置から3年。好評である。	
	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報保護・管理 	<ul style="list-style-type: none"> 管理人に周知徹底 	S	特に問題なし。	
	<ul style="list-style-type: none"> 情報公開 	<ul style="list-style-type: none"> 適切な情報公開 	S	特に問題なし。	
	<ul style="list-style-type: none"> その他（特記事項） 	<ul style="list-style-type: none"> 交流室利用者に対する接客態度の向上 	A	管理人間の意見交換を活発に行い、利用者のマナー向上をめざしつつ、顧客サービスと顧客満足度の向上に努めてきた。	
			総合評価	A	常に公園施設全体の管理・運営レベルの向上をめざして日々の業務を行っており、利用者の高い評価は今年度も維持できたと思われる。 課題であった地活事業における参加者増

		加は、初日の出鑑賞会で実現できたが、他の魅力あるイベントをつくり、工夫を重ねていく。
--	--	--

3 施設所管課による一次評価

総合評価	A
------	---

管理運営については、協定書・事業計画書のとおり適正に遂行している。施設維持管理面についても、仕様書に基づき着実に管理業務を行い、管理棟の美化向上にも努めている。課題であった交流室利用者に対する接客態度の向上についても、本年度において、利用者からの苦情等は見受けられなかった。また、自主事業についても積極的に行っている。

4 内部検討委員会による評価

総合評価	A
------	---

管理運営については、協定書通りに行われていて適正である。
 環境、景観を維持するため、施設の周辺清掃や修繕に努めている。また、田んぼゾーンでカキツバタの育成を行うなどの新たな取り組みについては評価できる。公園利用者が、増加しており、今後も施設の魅力向上に向けた取り組みを進め、新たなイベントへの取組などを検討し、新規の来場者の開拓に努められたい。
 アンケートの回答者数が少ないので、内容を検討するとともに協力依頼や回収方法など、一層の工夫を求める。引き続き持続可能な運営体制を確保されたい。

5 外部検討委員会による評価

総合評価	
------	--